Next Innovation.



香大生が、地域の観光資源を発掘し企画する 旅行ツアーが始まりました!

「チームSIGNAL」「まるかんガールズ」

ごく最近まで、バッケージ旅行などの旅行商品は、都市部の旅行会社が企画販売する「発地型」がほとんどでした。一方急増しているのが、旅行者を受け入れる地域が主導で作る「着地型」です。観光地側がディーブな見識に基づいて、人、モノ、自然、体験などの資源をアレンジするため、オリジナリティに溢れているのが特徴。地域の住民、産業や商業を巻き込



み、地域活性化につながるとも言われます。 そんな中、香川大学の経済学部を中心とした学生が結成した「チームSIGNAL」と「まるかんガールズ」が企画・開発した、JRを利用する着地型旅行ツアーが、この春催行され、参加者から大好評を得ました。

学生がツアー旅行を創造する「地域観光 チャレンジ」という名のプロジェクトは、2017 年に全国で初めて、四国の4国立大学とJR 四国が、地域活性を目的に観光振興や人 材育成で連携する協定を締結したのと同時 に始まりました。

「ローカル地域で自走可能な観光による活性化を創造する」事を目的にしており、① ローカル観光のビジネススキーム構築② ローカル観光のニーズに応える人材育成を 行い、将来的には③ローカル観光のブランディング・エリアリングを目指します。2018年9月に、4大学各々が2プランずつ提案した旅行企画の成果発表と審査会があり、1プランずつに与えられる金賞と銀賞を、香川大学の2チームが受賞。それが、今年の春にツアーとして実施されたのです。

金賞を受賞したチームSIGNALの『地域のお宝フルコース列車~東讃の「食」を堪能する 汽車旅~』は、東讃の多彩な魅力に触れられ



地域連携・生涯学習センター 長尾 敦史特命講師 専門分野 地域振興・コミュニティデザイン

るツアーです。体験やまち歩きなども交えなが ら、貸し切り列車の中で、郷土料理を食べ、乗 り込んだ地元の方が地域の歴史や文化を語 り、列車を「おもてなしの場」にしました。

銀賞を受賞したまるかんガールズの『香川でココロとカラダすっきり「美」カアップツアー』は、高松市国分寺町のオリーブ農園が舞台。オリーブの健康・美容効果のレクチャー、オリーブ畑でのヨガ教室、薬膳教室、美しくなるためのビュッフェランチという内容です。こちらは、ツアー旅行に馴染みの薄い若い女性をターゲットとし、"インスタ映え"を意識したどこを切り取っても絵になるコンテンツが女子学生チームらしいとJR四国から評価されました。また香川特産のオリーブが、小豆島だけでなく他の地域でも生産されている事実を伝えられた事にも意味があります。

どちらの企画も、先行事例と市場の調査、マーケティングの学習を経て、地域資源を発掘するフィールドワーク、ツアーの立案、地域の方々への協力依頼など、全てを学生が行いました。実施後には、商品と運営の検証を行い、さらに魅力あるツアーの創造に繋げます。来春催行に向けた旅行商品の開発も既に始まっています。3年生を中心とした2期生は、現在、企画立案、地域との関係づくりに奔走中。若者の卒業旅行や、外国人向け商品など、JRの新規顧客層を開拓する商品が期待されています。さらに3期目の再来年には四国4大学が連携した旅行商品の開発の予定も。観光客に四国全体を周遊してもらえるツアーの誕生も間近です。

地域を盛り上げるために香大生がどんな列車 旅を生み出すか。その若者らしいユニークな 発想が頼りにされています。



《研究シーズ活用のご相談は》 香川大学 産学連携・知的財産センター

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

TEL.087-832-1672(ft) FAX.087-832-1673

本学研究者の研究成果は、 HPより確認できます。 https://www.kagawa-u.ac.jp/ccip/



新しい観光ビジネスを生み出す 「地域観光チャレンジ」に期待しています。



JR四国 総合企画本部地域連携室長 大熊 伸二様

「地域観光チャレンジ」は、平成29年9月に、四国の4国立大学とJR四国が、観光による地域活性化とそれを担う人材育成を目指して連携を開始した取り組みです。4大学で18チーム約80人の学生が取り組んでくれましたが、その中でも香川大学の「まるかんガールズ」のメンバーは、実際に地域に足を運び、地域の方々と話し合いや試食会などを重ね、女性の「美」カアップをテーマにした新しい地域の観光プログラムを作成してくれました。地域の事業者の皆様も駆付けてくださった最終審査会では、見事、銀賞を受賞しました。

20~80代までの幅広い世代の方がご参加くださり、お客様の興味関心は、オリーブ、ヨガ、薬膳と様々でしたが、ここにしかない地域の魅力を体験していただきました。地域の事業者様も、初めての試みでしたが、今後も、継続していきたいという意向を持ってくださっております。

現在は、第2期生が活動中で、そろそろ企画をまとめる時期を迎えます。先輩たちの経験を活かして、「地域観光チャレンジ」が、より充実した活動になり、将来的には、地域の観光ビジネスを生み出すきっかけになることを願っています。



20 11 12 KAGAWA UNIVERSITY AD KAGAWA UNIVERSITY AD